

緊急赤潮情報 10

令和4年8月22日

大分県農林水産研究指導センター水産研究部

◎有害種のカレニア・ミキモトイが注意密度を超えています。
魚介類の管理にご注意ください。

発生場所：蒲江湾周辺

発生日時：令和4年8月22日～

プランクトン種類：カレニア・ミキモトイ（有害プランクトン）

プランクトン数：最高細胞数 513 細胞/ml（蒲江赤灯台 3 m層）

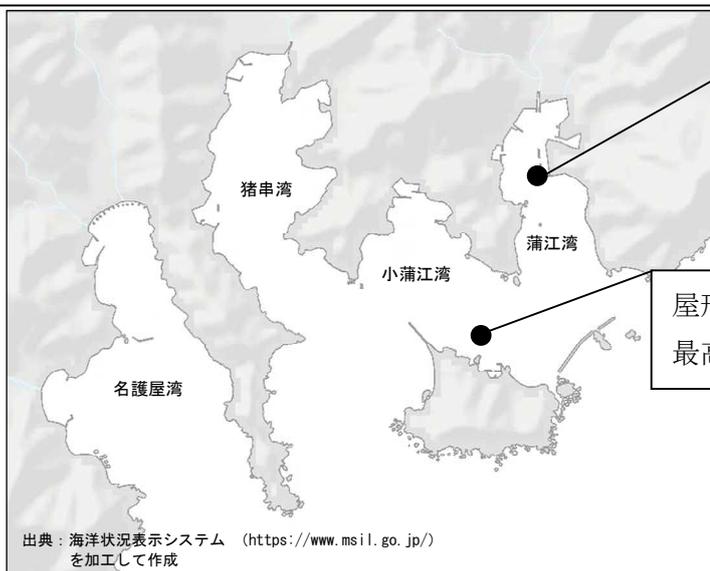
※詳細は別添参照。南部振興局の調査結果による。

（カレニア・ミキモトイの注意点）

- ・ 注意密度：200 細胞/ml 警戒密度：2,000 細胞/ml
- ・ カレニア・ミキモトイは魚介類の斃死を引き起こす非常に有害な赤潮プランクトンです。
- ・ 特に、アワビ、サザエ等では海面が着色する前に斃死する可能性があります。
- ・ 表層が着色しなくても、中層に赤潮を形成していることがあります。
- ・ 午前中、海色が良くても午後から色が悪くなる場合があります。
- ・ パッチ状になった赤潮は潮流や風の影響で移動し、養殖、蓄養中の魚介類に被害を及ぼすことがあります。

赤潮発生場所での対応

- ・ 投餌は控える。
- ・ 赤潮海域へ魚介類を入れない。
- ・ 赤潮海域から魚介類を避難する
- ・ 蓄用は控える。



蒲江赤灯台（3 m層）
最高細胞密度 513 cells/ml

屋形島（1 2 m層）
最高細胞密度 202 cells/ml